



那珂市教育支援センター
枝野 千恵子

本日の内容

- ・本日の研修に期待すること (自己紹介を兼ねグループで)
- ・自立活動の基本
- ・具体的な指導内容設定までの流れ
- ・自立活動実践の課題



自立活動の
基本

自立活動の目標

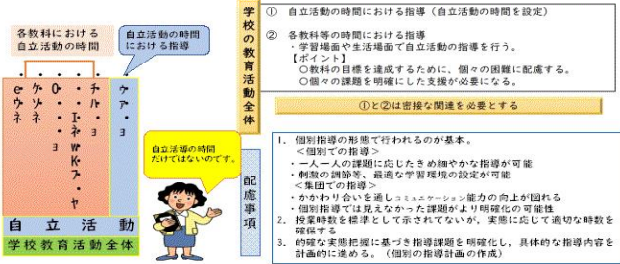
自立活動の役割

自立活動の位置づけ

配慮事項

対象となる児童生徒

自立活動の位置づけと配慮事項



自立活動の役割

- ・学習上、生活上の困難の改善・克服
- ・知識、技能、態度、習慣を養う

◆調和的発達に欠かせない



- 自立活動を進める・・・困難の改善・克服
- ・実態把握
 - ・指導内容の検討
 - ・授業改善
 - ・その他

自立活動の位置づけ・対象となる児童生徒



自立活動実践
(指導を考える)

自立活動の指導内容

プロセスにそって

具体的な指導内容の設定

実際の指導を考える

自立活動の目標

- ・個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

解説自立活動編 P48



感想

- 自立活動の意義について知ることができた。「困難の改善・克服」というキーワードと各教科における自立活動という視点を今後授業をみる際に生かしたい。
- 自立活動について研修することで、一人一人の子ども達への向き合い方を考えることができた。支援という枠で考えず、通常学級の担任もこの視点関わってほしいと思った。自分の立場で先生方に伝えていきたい。
- 自立活動について具体的な話が聞けたので有意義な時間だった。校内のいろいろな子が頭

に浮かんで、「どう対応しようかな」「どんな声をかけようかな」と思うと楽しくなった。その子を大切に思う気持ちはみんなあると思うが、「どのように」が見えてきた。

- 個人の努力ではどうしようもない子どもの困り感に特別支援学級の担任として、子どもをよく見て考え方や見方を先生方に伝えていこうと思った。学ぶことが多い研修だった。
- 実態把握をしっかりとやり、その子が何に困っているのかを理解できるようにしたいと思った。子どもにひっぱられないよう、少し距離をおいて、その子の困り感に寄り添っていけるような支援を考えていきたい。
- 子どもの将来を見据えた自立活動を日々実践して、積み重ねていこうと思った。
- 生徒達が学習面や生活面で困難にぶつかった時に解決できるよう、一人一人に合わせた自立活動を取り入れることの重要性を改めて理解することができた。
- 自立活動の中で何を意識するのか、どのように考えることが必要なのかを学ぶことができた。今後に生かしていきたいと思う。
- 初めての特別支援学級を担当することになり、右も左も分からない状態だった。まず、自立活動について分からないまま過ごしていたが、役割や基本を学ぶことで次の授業に生かしたいと思った。
- 自立活動をすすめていく上で、今やっていることが正しかったのかを振り返ることができた。子ども達のために自分も研鑽して子ども達に向き合っていきたいと思った。
- 実態把握をして、実態に即した指導が必要なことは分かっているものの、本校での指導ができるか、自立活動についてどう考えているか、通常学級担任を含めて研修する必要があると感じた。
- 夏休み中に一人一人の課題や得意なことを把握し、目標を立てて9月を迎えたいと思った。
- 改めて自立活動は、オーダーメイドの支援ということを認識した。また、特別支援学級だけでなく、交流学級とも連携をして支援することの大切さを学んだ。
- 普段の授業や学校生活における児童とのやりとりも、自立活動になっていると改めて認識した。形にとらわれず、子ども達の支援を続けていきたい。
- 自立活動の大切さ、特別支援学級の担任の役割がよく分かった。本日学んだことをもとに、2学期以降の指導を考えていきたい。また機会があれば、研修を受けたいと思う。
- 枝野先生の体験談をたくさん伺うことができて良かった。「子どもがこんな風に言ってきたら」の話が、すごくためになった。毎日本当にいろいろあるが、今日の研修内容を実践して、子ども達に教えてもらおうと思った。
- 通常学級の先生方にも自立活動について、個別の指導計画の作成の流れを知ってもらいたいと思った。自分ももっと調べて学んでいかなければと、今日話を聞いて学校の子どもの顔を思い出しながら痛感した。
- 枝野先生の「この子がいたから」の言葉で、過去のたくさん悩んで、たくさんの方が支えてくれた出来事を思い出した。毎日の学びを自分の力にしていけるようにしたい。